

氏名	たけ つぐ げん ぞう 武 次 玄 三	職名	教授	就任年月	1992年（平成4年）6月
【学歴】	1981年3月 立教大学文学部独文学科卒業 1987年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程独文学専攻修了 1992年3月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程独文学専攻単位取得満期退学 2009年3月 宮崎大学大学院教育学研究科修士課程学校教育専攻修了				
【取得学位】	文学修士 教育学修士				
【職歴】	1988年4月 東京歯科大学ドイツ語担当非常勤講師（～1992年5月迄） 1992年4月 千葉大学教養部ドイツ語担当非常勤講師（～1992年5月迄）				
【専門分野】	演劇論・演劇学 職業教育				
【研究課題】	演劇作品受容に関する観客論的研究 現代的諸課題に関する日独比較研究 ドイツの職業教育（訓練）研究				
【担当科目】	インターンシップ エコビジネス ドイツ語Ⅰ、Ⅱ				
【学会・社会活動】	日本独文学会 西日本独文学会				

【主な研究業績】

区 分 (単・共別)	著 書 ・ 論 文 名 等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
学術論文 (単)	「政治演劇」－エルヴィン・ピスカートア－	昭和 61 年度東京大学人文科学 研究科修士論文	1987 年 3 月
学術論文 (単)	「ドイツのデュアルシステムによる職業教育 の現状と課題」	平成 20 年度宮崎大学大学院 教育学研究科修士論文	2009 年 3 月
学術論文 (単)	「〈笑い〉の構造－カール・ヴァレンティン の場合－」	東京大学文学部「詩・言語」 第 33 号	1989 年 3 月
学術論文 (単)	「制度批判のドラマトゥルギー－エルヴィン・ ピスカートアのヴァイマール時代後期の演 出作品分析－」	「詩・言語」第 39 号	1991 年 11 月
学術論文 (単)	「〈笑い〉の構造Ⅱ－タナトス（反復衝動） としての〈笑い〉－」	「詩・言語」第 40 号	1992 年 5 月
学術論文 (単)	「Die theatralischen Versuche Erwin Piscators.1920-1931」	「宮崎産業経営大学研究紀要」 第 9 巻第 2 号	1997 年 3 月
学術論文 (単)	「ドイツのメディアに現れた日本」	「宮崎産業経営大学研究紀要」 第 10 巻第 2 号	1998 年 3 月
学術論文 (単)	「CALL システムを利用したドイツ語授業」	「宮崎産業経営大学研究紀要」 第 12 巻第 2 号	2000 年 3 月
学術論文 (単)	「CALL 教室を利用したドイツ語授業」	「ドイツ語情報処理研究」 第 12 号	2001 年 6 月
学術論文 (単)	「ドイツのデュアルシステムによる職業教育 の現状と課題（1）」	「宮崎産業経営大学研究紀要」 第 21 巻第 2 号	2010 年 3 月
学術論文 (単)	「ドイツのデュアルシステムによる職業教育 の現状と課題（2）」	「宮崎産業経営大学研究紀要」 第 22 巻第 1 号	2010 年 12 月
翻 訳 (共)	『ベルリン 1989』	大月書店	1990 年 3 月
翻 訳 (単)	「ドイツ連邦共和国職業教育法」	「宮崎産業経営大学法学論集」 第 22 巻第 1・2 号	2013 年 3 月
著 書 (共)	『現代経営セミナー』	創成社	2003 年 6 月
著 書 (共)	『講義で終わらない大学』	創成社	2006 年 7 月